

英語学科

人材養成および教育研究上の目的

英語学科は、広範な一般教養を身に付けるとともに、英語学、スピーチ・コミュニケーション学、イギリス文化・文学、アメリカ文化・文学の専門知識を修得し、他者への配慮や自由と責任に基づく倫理観を備えた国際人を育むことを教育理念とする。この理念に基づき、国際人として人と社会のあり方を多様な価値観の中で総合的に捉え、高度情報技術社会において人間の原点に立って行動できる人材、及び外国語学習を通して異文化を理解し、日本と世界を結ぶコミュニケーション能力を持った人材を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

世界中でグローバル化が進んでいる今日、異文化に対する理解と世界語としての英語の習得が重要なのは言をまちません。英語学科では異文化理解と英語力を併せ持ち、国際社会で活躍できる人材を育成することを人材育成・教育研究の目的としています。英語学科では潜在能力に優れた学生を入学させるため、一般入試や推薦入試などの多様な選抜方法によって、個性豊かな人材を受け入れることができるようにしています。

英語学科では上記の人材育成・教育の目的と以下の本学の「建学の精神」をよく理解した人々を広く国内外から受け入れます。即ち、しっかりとした考え方をもち、独断や偏見にとらわれない生き方をもとめる人、温和なバランス感覚に優れた能力に身につけたい人、誠実で責任感が強い人、新しいこと、困難なことに自ら取り組む気概を持つ人などです。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

英語学科では、異文化理解を基にした国際感覚と英語力の養成をカリキュラムの目標と定め、学生の興味に対応すべく言語コースと文化・文学コースの2コース制を採っています。1年次に各学問領域の「概論」を配し、学生が英語学科で学ぶ分野の全体像を把握し、コース選択が的確にできるようにしています。コースの選択後は「特講」などを経て「演習」に入れるように段階的配置を行っています。また、英語力を養成するため、いずれのコースも英語の4技能の学修を必修としています。さらに、コース制は学生の関心に対応し、他コースの科目の受講もある程度可能なように柔軟性を持たせています。





❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

英語学科では、各コースの専門科目と相まって、両コースに共通した科目を約6割として、英語圏文化の理解と英語の運用能力の向上に努め、国際社会で活躍できる人材を輩出することを目指しています。学位の判定は、上記カリキュラム・ポリシーに沿った各科目の履修と共に、以下の英語学科および本学のディプロマ・ポリシーに沿った能力・知識の修得をもってなされます。

1. 英語学科で修得した知識・技術・態度を用いて、自らが発見した新たな課題を解決できる能力
2. 職業生活、社会生活に必要な知的活動を支える英語を中心としたコミュニケーション能力や論理的思考力
3. 自立しながらも他者と強調して行動でき、国際社会の一員として世界の発展に寄与できる力

